

August 13, 2019

【前日の為替概況】ドル円、4日続落 米中貿易摩擦激化や香港デモを懸念

12日のニューヨーク外国為替市場でドル円は4日続落。終値は105.30円と前営業日NY終値(105.69円)と比べて39銭程度のドル安水準だった。米中貿易摩擦激化への警戒感や香港のデモを巡る懸念から、リスク回避的な円買い・ドル売りが先行し、20時30分前に一時105.05円と1月3日以来の安値を付けた。ただ、厚めの買い注文やオプションが観測されている105.00円に接近した場面では買いが入ったため、NY市場では下値の堅さが目立った。23時頃に一時105.44円付近まで持ち直した。その後、ダウ平均が460ドル超下落した場面でも円買い・ドル売りでの反応は鈍く、105.30円挟みでのみ合いに終始している。

ユーロドルは続伸。終値は1.1214ドルと前営業日NY終値(1.1200ドル)と比べて0.0014ドル程度のユーロ高水準だった。日本時間夕刻には目先のストップロスを誘発して一時1.1162ドルと1週間ぶりの安値を付けたものの、NY市場では買い戻しが優勢に。米10年債利回りが1.6284%前後まで大幅低下したことがユーロ買い・ドル売りを促し、24時過ぎには1.1231ドルの本日高値まで切り返した。そのあとは1.12ドル台前半で値動きが鈍った。

ユーロ円は4日続落。終値は118.08円と前日NY終値(118.38円)と比べて30銭程度のユーロ安水準。欧州市場序盤に一時117.52円と2017年4月21日以来約2年4カ月ぶりの安値を付けたものの、NY市場では買い戻しが優勢だった。ドル円の下げ渋りやユーロドルの強含みを受けて円売り・ユーロ買いが進むと、23時頃に一時118.24円付近まで値を上げた。ただ、NY中盤以降は118円台前半での狭いレンジ取引に終始。ユーロドルと似た動きとなった。

アルゼンチン・ペソは暴落。同国では11日、大統領選の前哨戦となる予備選挙が実施され、左派のフェルナンデス元首相が得票率約47%と現職で中道右派のマクリ大統領に約15ポイントの大差をつけて首位に立った。経済政策が争点となる中、左派陣営は国際通貨基金(IMF)との合意や欧州連合(EU)との自由貿易協定(FTA)を見直す方針を掲げており、「市場の混乱を招く可能性がある」との見方から通貨ペソを売る動きが膨らんだ。ペソはドルに対して一時36%以上急落し、1ドル=62ペソ前後と過去最安値を付けた。

【本日の東京為替見通し】アルゼンチン危機再び、ドル円の売り圧力は継続か

本日の東京市場のドル円は、上値が重い展開が続くか。昨日休場だった東京市場とシンガポール市場が戻ってくることもあり、東京時間の市場流動性は回復するだろう。その中でドル円はどこで売るかから、いつ売るかにステージが変わってくる可能性がある。ドル円の売りを誘発する要因としては、以前からある米中為替戦争、トランプ米大統領の利下げ要求圧力、中東不安や香港情勢の悪化などがある。さらに昨日はアルゼンチン危機が加わった。アルゼンチンの通貨危機は2001年からはじまり、その後も2014年にテクニカル・デフォルト、そして昨年も政策金利を45%まで引き上げるほどの危機に直面した。世界中の政治が左傾化と右傾化に極端に傾き、政治状況から様々な地政学リスクがドミノ倒しになってきていることで、リスクオフ地合いが急速に収束することは考えにくい。また、地政学リスク以外のリスク要因で常に頭に入れておかなければならないのが、日米通商交渉の結果が今月もしくは来月に発表される可能性が高いことだ。参議院選挙終了まで、日本に圧力をかけなかったトランプ政権に対して、安倍政権が自国通貨安の政策をとることが難しくなっていることで、更なる円高になる可能性は高い。

東京時間では本日も中国人民銀行が10時15分頃に公表する外国為替市場での人民元取引の基準値に注目が集まる。昨日は市場予想よりも元高で設定されたものの、7元台を維持している。市場は7元台に目が慣れつつあるが、もし6元台に設定された場合は、ドル円の買い戻しが入るだろう。

ドル円以外の通貨もボラタイルに動きそうだ。ポンドドルは昨日のアジア時間で年初来安値を更新した。1.20ドル台を維持できたものの、売り意欲は依然強いいため1.20ドル割れへの備えは必要だ。本日は英雇用統計が発表されることもあり、ポンドの乱高下には警戒したい。

金利低下傾向のオセアニア通貨も上値が重い。NZ財務省はテクニカル的には「NZ準備銀行(RBNZ)はオフィシャル・キャッシュ・レートを-0.35%まで引き下げることが可能」と昨日発言しているように、オセアニアの利下げの流れも止まらないようだ。また、アルゼンチンの問題もあり、南ア・ランド円は連日で年初来安値を更新している。新興国通貨は本日も乱高下しそうだ。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:50 ◇ 7月企業物価指数（予想：前月比 0.1% / 前年比 ▲0.5%）
- 13:30 ◇ 6月第三次産業活動指数（予想：前月比 ▲0.1%）

<海外>

- 09:00 ◎ 4-6月期シンガポール国内総生産（GDP）確定値（予想：前期比年率 ▲2.9%）
- 10:30 ◇ 7月豪 NAB 企業景況感指数
- 15:00 ◇ 7月独卸売物価指数（WPI）
- 15:00 ◎ 7月独消費者物価指数（CPI）改定値（予想：前月比 0.5% / 前年比 1.7%）
- 17:30 ◎ 7月英雇用統計（予想：失業保険申請件数推移 3万 2000件 / 失業率なし）
- 17:30 ◎ 4-6月英失業率（ILO方式、予想：3.8%）
- 18:00 ◎ 8月独 ZEW 景況感指数（予想：▲28.5）
- 18:00 ◎ 8月ユーロ圏 ZEW 景況感指数
- 21:30 ☆ 7月米 CPI（予想：前月比 0.3% / 前年比 1.7%）
☆ エネルギーと食品を除くコア指数（予想：前月比 0.2% / 前年比 2.1%）
- トルコ（犠牲祭）、休場

14日

<国内>

- 08:50 ◎ 6月機械受注

<海外>

- 09:30 ◇ 8月豪ウエストパック消費者信頼感指数

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

12 日 12:27 アーダーン NZ 首相

「NZ 経済は良い状態、低金利は国際的な現象」

「低金利は借り手には良い」

「何か他の刺激策が出来るか継続して探している」

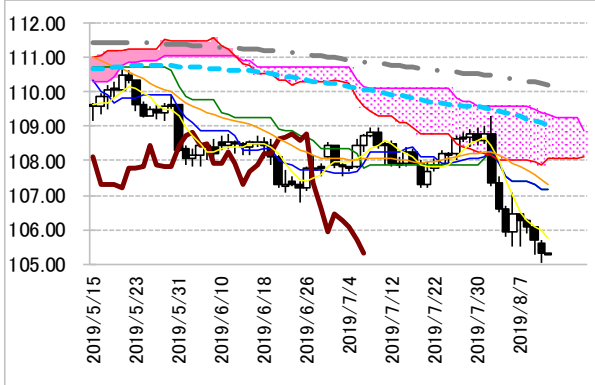
12 日 23:16 英首相報道官

「ジョンソン首相とトランプ大統領は電話でプレグジット、

貿易について協議した」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

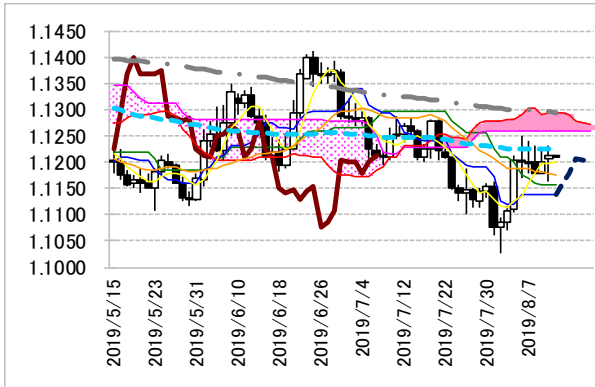


<ドル円＝年初来安値更新による下落加速のリスク懸念>

下影陰線引け。フラッシュクラッシュで年初来安値をつけた1月3日以来の安値を105.05円まで更新した。

105円割れを回避しており、下げ渋って底堅さを示唆する下ひげを形成しつつも、日々レンジを切り下げる展開が続いている。短期のさう勢を示す5日移動平均線の低下をともないつつ、下値を探る流れが続きそう。年初来安値104.87円を下抜け、下落を加速させるリスクが懸念される。

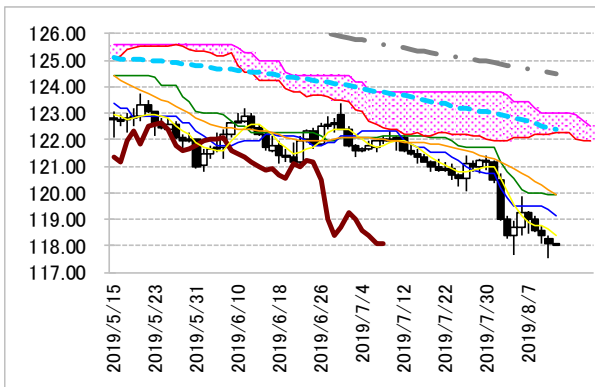
レジスタンス1	105.72(5日移動平均線)
前日終値	105.30
サポート1	104.87(1/3安値＝年初来安値)
サポート2	104.56(2018/3/26安値＝2018年安値)



<ユーロドル＝転換線の切り上がりによるサポート待ち>

下影小陽線引け。1.1170ドル台で切り下がる21日移動平均線へ追従する格好で下値を追う展開が先行した。いったん横ばいとなる一目均衡表・基準線1.1157ドルを前に下げ渋り、21日線を再び上回ったが、1.1224ドル前後で低下中の90日線付近で戻りは一巡。同線の上抜けによる強い上昇が期待できるのは、やはり現在1.1139ドルに位置する一目均衡表・転換線が、見込み通り14日以降に上昇を再開してからか。

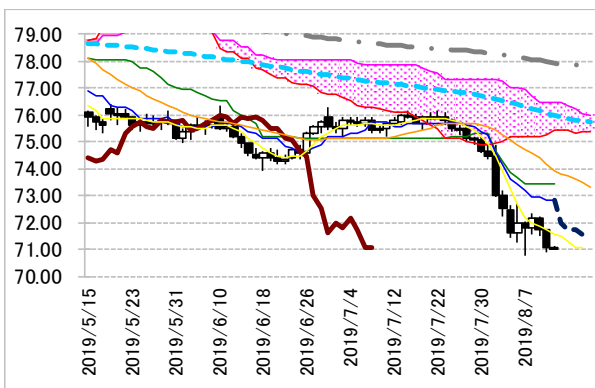
レジスタンス1	1.1260(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	1.1214
サポート1	1.1162(8/12安値)



<ユーロ円＝下向き示唆の状態を維持>

下影小陰線引け。一時117.52円と、5日安値117.68円を割り込み、年初来安値を更新した。2017年4月以来の安値圏で下げ渋ったが、終値ベースの年初来安値更新の流れが続いている。一目均衡表・遅行スパンは低下継続で、総体的な流れが下向きであるとの認識に変化はない。

レジスタンス1	118.70(8/6-12下落幅の半値戻し)
前日終値	118.08
サポート1	117.52(8/12安値＝年初来安値)



<豪ドル円＝Wボトム形成期待も、安値更新リスクが共存>

下影陰線引け。一目均衡表・転換線は、現水準72.80円から下落角度強めていく見込み。目先の売り圧力の強まりを示唆しており、弱い相場推移が続きそうだ。現状からすれば、転換線は来週早々にいったん下げ渋る可能性はあるが、さえない値動きであるため、再び低下へ転じる公算が大きい。このまま7日安値70.75円前後で下げ渋り、反転パターンのダブルボトムを形成する展開を期待するが、サポートを得られるぬまま、年初来安値更新へ向かうリスクも視野に入れて臨まなければならない。

レジスタンス1	71.58(5日移動平均線)
前日終値	71.09
サポート1	70.64(1/3安値＝年初来安値)

